

会議録（概要版）

報告者 生涯学習課

会議名	令和5年度第2回白里小学校学校運営協議会
日時	令和5年11月24日（金）午前10時から
場所	白里小学校 多目的室
出席者	<p>【委員】安川会長、池田副会長、山桐委員、吉田委員、内山（知）委員 片岡委員、川嶋委員、内山（明）委員、山本委員（八角委員欠席）</p> <p>【白里小学校】伊藤教頭、工藤教務主任</p> <p>【教育委員会管理課】渡辺主幹</p> <p>【大網小学校】川崎校長</p> <p>【生涯学習課】鈴木課長、佐藤副課長、佐久間班長、今井</p>
内容	<p>伊藤教頭の司会進行で開会。</p> <p>1 会長あいさつ（安川会長） 今年第2回の会議に、お忙しい中出席いただきお礼を申し上げる。 議題が2つあるので慎重審議をお願いしたい。</p> <p>2 学校長あいさつ 白里小学校では2学期以降、インフルエンザ感染児童が多く、学級閉鎖・学年閉鎖を行った。しかし当初予定していた運動会、オープンスクール、校外学習、マラソン大会など、委員や地域のみなさんのお力をいただき計画通り実施できた。芋苗植えや芋掘り、駐車場の整備なども地域の方のお力をいただき、安全に実施できた。</p> <p>3 議事（会長が議長）</p> <p>1）白里小学校の教育目標及び経営方針について（中間報告） 山桐委員（学校長）から報告。</p> <p>①確かな学力の向上について GIGAスクール構想で導入された1人1台端末は児童に溶け込んでいるが、4月の全国学力学習状況調査では十分な結果が出ていない。学校評価アンケートでも昨年度より評価が下がっている。今後さらに職員研修を進め、確かな学力の定着を図っていく。</p> <p>②やさしい子の育成について 今年は、学年を超えた活動が多くでき、高学年が他学年の手伝いや補助をする機会が増え、思いやりの心が育っているように感じる。引き続き思いやる心の育成に努めていく。</p> <p>③たくましい子の育成について 体力面では、水泳学習や運動会、体力テストや向寒マラソンの実施などを通して、児童の体力も戻ってきたように感じる。安全面では、様々な状況を想定した避難訓練を7回実施し、安全への意識づけが</p>

できるよう指導している。学校評価では、ある程度の評価はいただいているもののやや低い評価となっている。校内環境の整備等を再確認して、より安全な学校を目指したい。

④発達や個性に応じた教育の推進について

個別に対応が必要な児童については、保護者とよく話し合い、適切な合理的配慮をしている。

⑤地域とともに歩む学校について

学校運営協議会が昨年度からスタートし、児童の安全面を中心に援助をいただき、学校の大きな力となっている。引き続きお願いしたい。

⑥チーム白里職員室文化の創造について

働き方改革に関して、時間外勤務時間の多さが依然として大きな課題となっている。

(質疑・意見等)

- ・トラブルやいじめの問題で、白里はクラス替えもないし、中学校まで同じメンバーで過ごすことになり、問題が発生すると長引いてしまう。小学校のうちうまく対応しないといけない。
→低評価につながっている要因として、「わからない」と回答した方が多いこともある。ただ、早期発見・対処ができるように教育相談週間を設け、問題の発見に努めている。
- ・社会福祉協議会白里支部で以前に行っていた昔遊びや太巻き寿司づくりなど、協力できるものがあれば、学校から言ってもらえればいつでも協力できる。
- ・学校評価のアンケートのデータの取り方として、「わからない」をなくした方がいいのではないか。その方が正しい伝わり方をするのではないか。
→第2回目のアンケートを3学期に行うので、検討したい。
- ・アンケートの聞き方として、「把握している」とか「見ている」「聞いている」とした方が、答えやすいのではないか。
→より正確な数値が出るような文言を検討します。
- ・白里特別支援学校の学校運営協議会の中で、地域との交流が話題に上った。支援学校は、地域と交流をする中で、もっと理解してもらいたいとのこと。小学校・中学校と支援学校の交流も検討したらどうか。
- ・幼少中の連携について、コロナ前まではいろいろ交流もあったが、コロナが明けて、学校として連携についてどう考えているか。
→少しずつできるところから交流について考えていきたい。
- ・アンケートの取り方について、いじめの問題だが、保護者に対して

「あなたは学校に相談したことがありますか」という質問がなかったらおかしいと思う。それについて「学校がすぐ対応したか」というふうに段階を追っていかないといけないと思う。

→保護者が回答しやすいように次回に向けて検討していきたい。

2) 学校運営協議会の目標について (中間報告)

山桐校長より説明。

①イモを育てようについて

1年生の芋苗植えと芋掘りについては、農業研究会の方々のご協力をいただき、安全に楽しく実施することができた。

②昔の暮らしや地域の伝統行事を知ろうについて

現在、実施に向けて検討中。2学期の最終もしくは3学期に計画している。

③安全マップづくりについて

委員の方にご協力いただき、無事に実施することができた。

④運動会やマラソン大会の補助について

運動会は、平日開催としたため、駐車場の割振り等未確定部分が多かったため、依頼を見送った。マラソン大会は社会福祉協議会白里支部の方々に依頼して、コースの途中に立っていただき、見守りと応援をお願いした。

当初の目標にはなかったが、片岡委員のご紹介で駐車場用地を借り、土木組合の青年部の協力で整地をしてもらった。

(質疑・意見等)

- ・昔遊びについて、コロナ前は1、2年生で定期的にやっていた。学校の方から依頼があれば協力できる。地域の伝統行事についても、社会福祉協議会で協力できるところもある。
- ・保護者としてみると、社会福祉協議会の応援は非常によかった。昔遊びなどは、小さい子供から支援学校の児童生徒まで入れて、地域交流を図ることもいいのではないかと思う。
- ・昔は小さい子から大きい子まで一緒に遊んでいたが、今は学年ごとで遊ぶことが多いように思う。一緒に遊ぶことで、先輩後輩や仲間という絆が出来てくるのではないかと思う。
- ・四天木環境保全会で管理している畑が、学校の近くにあり、そこで子ども達に種まきの体験をさせることもできるので、スケジュールが合えば相談してほしい。
- ・朝顔を毎年植えているが、ただ植えるだけではなく、双葉が出て枯れて落ちるまでの物語や、収穫の楽しみ、大事さなどを通じて学ぶことがあるので、それらを大事にしていきたい。

4 その他

- ・委員からはなし。
- ・事務局から、次回の会議は3月に開催。内容は学校経営方針の最終評価と、学校運営協議会の目標の最終評価。

伊藤教頭の司会進行で閉会。

以上、報告します。